

令和7年3月18日

矢巾町議会議長 廣 田 清 実 様

総務常任委員会委員長 高 橋 安 子

総務常任委員会活動報告書

本委員会は、令和5年度及び令和6年度の所管事務について、下記のとおり調査を終了したので報告します。

記

- 1 令和5年度・6年度活動テーマ  
公民連携で自治振興による安全安心のまちづくり
- 2 調査結果  
別紙のとおり

# 総務常任委員会活動報告

## 令和5・6年度の活動総括

### 1 活動テーマ

公民連携で自治振興による安全安心のまちづくり

### 2 調査課題

- ① 地域コミュニティ運営の検証  
(世代間交流による協創と郷土愛を育むまちづくりを目指して)
- ② デジタル化対応の検証
- ③ 公共施設マネジメントの検証
- ④ 町内交通機関の整備改善
- ⑤ 防災、防犯、交通安全対策の充実
- ⑥ 脱炭素に向けた取組み
- ⑦ 財政健全化状況の確認
- ⑧ 矢巾町型コンパクトシティと幸福度の高いまちづくり検証
- ⑨ 町有地の活用による定住促進と企業誘致についての検証

なお、特に③、⑦、⑧、⑨に関しては令和5、6年度内において深く調査をできなかったことから、次期任期においての取組みを検討願うものである。

### 3 2年間の活動の振り返り

2年間の活動を終え、委員からの意見を集約したものは以下のとおりである。

#### (1) 活動内容全体を振り返った際の良かった点（以下総務の例）

- ・各担当課からのヒアリングでは、実際に意見交換で前年度及び当年度の業務活動計画について当局の考えを詳しく知ることができた。
- ・所管事務調査で訪問した新潟県三条市・見附市や神奈川県藤沢市において内容が充実していた。
- ・九戸村研修視察では、過疎化が進む村の課題や道の駅を充実させるなど、官民一体での取組みの努力を感じた。
- ・防災訓練や災害時用備品保管について備品数の備えが十分であること、分散保管や保管方法が適正であり的確に取り組んでいることを検証できた。

#### (2) 活動内容全体を振り返った際の反省点

- ・所管課とのヒアリングについては、令和6年度は書面で実施されたが、担当者に直接質問できる対面でのヒアリングが望ましいと感じた。
- ・委員会で調査研究を行う前に、目的や趣旨を認識し合う必要性と事前勉強会を行う必要性を感じた（委員会メンバーに認識の差を感じる）。
- ・財政健全化の検証は、委員会として不十分であった。
- ・町有地活用の考えについて、聞き取りや検証ができなかった。
- ・一つの課題を改善提言できるところまで追いかけることが必要と思う。取組みに

関し追跡フローが存在すれば良いと思う。

・ 少子高齢化対応、持続可能な社会の確立を前提に、業務DXの取り込みを考察し委員会として取り組んでいくべき。

(3) 次期総務常任委員会の活動に対して申し送りすべき事項

・ 県内各市町村の取組みで参考になる自治体も多くあることから、今後も積極的に視察研修を検討すべきと思う。

・ 視察については目的の精査、本町の今後についての討論が必要ではないか。

・ 地域コミュニティの活性化及び近助の精神を育む必要性を感じるため、コミュニティの在り方を継続検討願いたい。

(4) これまでの活動内容(調査対象)に関する特記すべきコメント

・ 災害がいつ起こってもおかしくない時代であることから、防災施設や伝達手段、避難場所・備品保管管理等今後もきめ細かい確認が必要と思う。

・ 地域おこし協力隊について、仕事内容や赴任してみたの感想、意見を早い段階で聞き取りするべきではないかと感じた。

・ 所管事務および本町の課題で、令和5年と6年で取り組めなかった事項について調査をお願いする。

・ 課題や提言を当局側への提出、提言までの業務フロー(チェックリスト)で確認しつつ実行できると取組みの達成感、軌跡が残ることで次への参考資料にもなると思う。

・ 公共交通や高齢化社会に対する取組みについて早急に具現化して欲しい。

4 町への要望及び提言について

令和5年度に行った県外への所管事務調査では災害、高齢化、人口減少、脱炭素対策等の施策を参考に町政に活かしていきたいとの所見で結んでいるところである。

令和6年度において行った所管事務調査では、公共交通の充足や高齢化社会に対応した取組みを求める意見や、全国各地で頻発する災害に備え、より一層充実した体制作りを求める意見があった。

このような事案に対応していくためには、少子高齢化に向かう中で持続可能な社会を確立するため、業務にDXの取り込みをより一層進め効率化を図るとともに、近助の精神を育む必要性を感じることから、地域コミュニティの活性化をより強固に推進していく施策の展開が望まれる。

**総務常任委員会委員**

委員長	高橋安子	副委員長	赤丸秀雄
委員	高橋敬太	委員	ササキマサヒロ
委員	齊藤勝浩	委員	廣田清実

令和5年活動テーマ	
公民連携で自治振興による安全安心のまちづくり	
活 動 内 容	
○委員会開催回数：6回	
第2回	令和5年7月7日（金） 総務課・未来戦略室・税務課から令和4・5年度取組み状況についてヒアリング
第3回	令和5年7月18日（火） 企画財政課・町民環境課・税務課からのヒアリング 令和4・5年度取組み状況について
第4回	令和5年8月3日（木） 令和5・6年度総務常任委員会活動テーマについて ○活動テーマ：「公民連携で自治振興によるまちづくり」 ○調査課題 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域コミュニティ運営の検証</li><li>・ デジタル化対応の検証</li><li>・ 公共施設マネジメントの検証</li><li>・ 町内交通機関の整備改善</li><li>・ 防災・防犯・交通安全対策の充実</li><li>・ 脱炭素に向けた取組み</li><li>・ 財政健全化状況の確認</li><li>・ 矢巾町型コンパクトシティと幸福度の高い町づくり検証</li><li>・ 町有地の活用による定住促進と企業誘致についての検証</li></ul>
第5回	令和5年10月4日（水） 総務常任委員会所管調査に関する打ち合わせ
第6回	令和5年12月12日（火） 5請願第2号の審査
○請願審査：1件 5請願第2号パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な休戦を求める請願審査について 審査結果 全員賛成で採択すべきものとした	

○所管事務調査 1件

実施日時 令和5年10月16日(月)～18日(水)

参加者 総務常任委員会6名・吉田事務局長

企画財政課 立花 敦志係長 8名

視察先及び目的

- ① 新潟県三条市水防学習館  
水防学習館による防災の取り組みについて
- ② 新潟県見附市  
地域活性化モデルケースの取組み
- ③ 神奈川県藤沢市リサイクルプラザ藤沢  
ゴミのリサイクルの推進に向けた市民の周知活動について
- ④ 神奈川県藤沢市ノビシロハウス亀井野  
ノビシロハウスによる世代間のコミュニティ構築

所 感 等

令和5年度は改選後初の常任委員会であり、6名の常任委員の内3名が新人議員であったにもかかわらず、テーマや活動計画に積極的な発言があった。

視察先でも、積極的な質問等があり他市の取組みを参考に本町に活かしていきたいという意気込みが感じられた。

また、それぞれの報告書にも視察先の災害、高齢化、人口減少、脱炭素対策等を参考に町政に活かしていきたいとの所見であった。

総務常任委員会委員

委員長	高橋安子	副委員長	赤丸秀雄
委員	高橋敬太	委員	ササキマサヒロ
委員	齊藤勝浩	委員	廣田清実

# 令和6年度 総務常任委員会活動報告

令和6年度活動テーマ	
公民連携で自治振興による安全安心のまちづくり	
活 動 内 容	
○委員会開催回数：9回	
第1回	令和6年4月22日（月） 午前9時 令和6年度の総務常任委員会活動計画等について
第2回	令和6年5月15日（水） 午後1時30分 総務常任委員会の所管課における令和5年度事業実施状況等と令和6年度主要事業及び今後の活動計画について
第3回	令和6年6月17日（月） 本会議終了後 総務常任委員会所管課に対する質問の回答と今後の活動計画について
第4回	令和6年9月11日（水） 予算決算常任委員会終了後 九戸村への所管事務調査の取りまとめと今後の活動について
第5回	令和6年10月7日（水） 本会議終了後 本町電算システムの運用に係る方向性について ・電算システムの導入にあたっての基本的な対応の考え方 ・効率的なシステムの構築に関する考え方 ・システムの改正対応を要する際の基本的な考え方 ・その他
第6回	令和6年11月7日（木） 午後1時30分から 矢巾町役場4階第1・2委員会室 防災倉庫他 災害発生時における対応の課題と物資の備蓄状況について ・本町に災害が発生した際の対応に関する課題 ・本町における災害対応物資の備蓄個所や状況の現場確認 ・その他
第7回	令和6年12月9日（月） 本会議終了後 令和6年度のこれまでの取り組み内容のまとめと今後の活動について
第8回	令和7年1月14日（火） 午後1時30分 地域おこし協力隊の活動について（これまでの取り組みと成果等） 地域おこし協力隊：中田 雅博 さん・岩隈 淳樹 さん 企画財政課企画コミュニティ係長 立花 敦志
第9回	令和7年1月29日（水） 午後1時 これまでの取り組み内容のまとめと今後の活動について（事務事業評価等）

※ 令和5・6年度の活動の良かった点、反省点、申し送り事項について各自報告してもらい、全体をまとめて報告することとする。

○所管事務調査 1件

視 察 先 九戸村道の駅オドデ館、九戸村役場

日 時 令和6年8月5日（月）午前11時30分～

研修事項 1) 道の駅オドデ館の運営状況等

2) 九戸村におけるICT（AI）を活用した村内公共交通システムについて

### 所 感 等

令和6年度は、所管課における令和5年度事業実施状況と令和6年度の主要事業についての調査を実施するとともに、町内の災害発生時における物資の備蓄状況や地域おこし協力隊から活動状況や問題点等について聞き取りを実施した。

また、九戸村における公共交通システムや道の駅の運営状況等について調査した。

本町の災害対策は全国的にみても先進的であることや県内における事業も本町での活用できる事業が多くあり、今後も検証したい。

### 総務常任委員会委員

委員長	高橋安子	副委員長	赤丸秀雄
委員	高橋敬太	委員	ササキマサヒロ
委員	齊藤勝浩	委員	廣田清実